

# 15 『鉄道の歴史（旧標津線）を巡る』ルート

1. 厚床（交差点）  
10.6km 13分
2. 奥行（おくゆき）駅舎 17）  
12.2km 15分
3. 別海（別海町多目的広場・鉄橋跡）  
30.2km 36分
4. 西春別（鉄道記念公園）  
12.6km 15分
5. 計根別（けねべつ）線路跡）  
14.0km 17分
6. 中標津町交通センター（備品展示）  
14.0km 17分
7. 川北 駅舎跡（現ふれあいセンター）車両）  
12.3km 15分
8. 標津（転車台・SL）

## 厚床 標津

平成元年に廃止となったJR旧標津線のあとを巡ってみよう。

## 7千情報 標津線について

標津線は、広大ななむる地域の開拓のため建設された鉄道です。昭和8年、第一工区として厚床 - 西別間が開通。その後徐々に延長を重ね、昭和12年には標津までを結ぶ駅数19、全長116.9kmに及び「標津線」の開通となったのです。原野開拓の人々の支えとなった標津線でしたが、人々の交通手段が車へと変わっていく中、利用者が減少していき、ついに平成元年、56年に及びその歴史に幕を閉じました。

## 奥行臼駅舎・村営軌道車両等

別海町の指定文化財になっている奥行臼駅舎は、村営軌道の乗換駅等として、周辺地域の物資の輸送のみならず、文化・生活の発展に重要な役割を果たしてきました。いったん撤去されたレールも新たに敷設し、路線廃止以前の駅の姿に近い形で復元されています。すぐ近くに村営軌道の車両や転車台なども保存されているよ。



（旧奥行臼駅舎・村営軌道車両）

## 別海町奥行

## 鉄道記念公園・記念館（西春別）

平成元年4月に廃止されたJR標津線の功績を永く残そうと作られた公園。SLが展示してあるほか、JR旧西春別駅跡地に建つ記念館には、当時の活躍を偲ぶ資料や鉄道に関する道具・器具が展示保存されている。



（鉄道記念公園）

別海町西春別駅前西町271番地  
開館 9:00 - 15:00（記念館）休日 月曜（祝日の場合翌日）

## 別海町多目的広場・鉄橋跡（別海）

JR旧別海駅前には広場として、西別川に架かる鉄橋は歩行者専用の道として、それぞれ町民の憩いの場になっています。



（鉄橋跡）

## 中標津町交通センター（中標津バスターミナル）

JR旧中標津駅で使われていたものが展示してあるよ。見学したい方は、センター内のバス案内窓口につながしてね。

中標津町東2条南3丁目



（展示室「中標津町交通センター」）

## 転車台・SL（標津）

JR旧標津線の終着駅があった標津。標津町役場の裏には転車台、文化ホール前にはSLが展示してあります。



（転車台（標津町））

## 鉄橋

厚床から奥行に向かう途中の風蓮川に鉄橋の跡が見えるヨ。



（鉄橋風景）

